

小牧市学校教育 I C T 推進計画の取組状況

1. 全体計画や運用ルールなどの整備

具体的な取組み	～2018	2019	2020	2021	2022～
① 学校教育 I C T 推進計画の策定・見直し	第1次計画策定	第1次計画の実実施進捗状況の確認		計画見直し第2次計画策定	第2次計画の実施
② セキュリティポリシー、運用マニュアルの再整備	運用ルール(H26作成版)での運用	運用マニュアル等の見直し	セキュリティポリシー、運用マニュアル(2019年度作成版)での運用		
③ 情報リテラシのカリキュラム再編成	各校独自のカリキュラムで実施	基準となるカリキュラムの作成タブレットPCに対応	2019年度作成のカリキュラムでの情報リテラシ教育の実施		カリキュラムの見直し

当初 (H31・2)	<ul style="list-style-type: none"> 小牧市では、日々の学習活動を支え、こどもたちの時代を切り拓く力を高めるために必要な I C T 環境の整備を計画的に行っていきます。 I C T 教育を進めていくためには、情報漏洩対策が欠かせません。人的、組織的、また技術的な情報セキュリティに対する考え方を統一し、セキュリティポリシーと運用マニュアルを再検証し、学校現場に即した規定を再整備します。 I C T が社会に浸透し、これからの社会を生き抜いていくこどもたちは、I C T を使いこなす力を身に付ける必要があります。将来を見越して、こどもたちの発達段階に応じた情報リテラシのカリキュラムを再編成します。
R1 取組み	<p>① 各取組みの進捗状況について、小牧市情報教育 I C T 推進委員会に随時報告し、意見をいただくことにより進捗管理を行います。 (令和元年度：2回程度開催予定)</p> <p>② セキュリティポリシー及び運用マニュアルを見直すため、小牧市コンピュータ整備検討委員会に策定部会を設置し、改訂版(案)を策定します。</p> <p>③ 令和元年度に、小牧市 I T 活用研究委員会において、情報リテラシのカリキュラムの再編成について検討します。</p>

2. モデル校での実践検証

具体的な取組み	～2018	2019	2020	2021	2022～
① タブレットPCの活用検証		モデル校での活用実践の検証 (モデル校には、3クラスに1クラス分程度の配備を予定)			

当初 (H31・2)	<ul style="list-style-type: none"> モデル校で1人1台タブレットPCが利用できる学習環境を整備し、ICTを活用した「分かる授業」の実現、授業におけるこどもたちのICT活用力向上に向けた活用実践の検証を進めていきます。 															
R1 取組み	<ul style="list-style-type: none"> 市教育委員会の基本的な考え方を示した「ICT教育におけるモデル校事業の検証方針」を策定し、平成31年2月に発表しました。 令和元年8月に、モデル校にタブレットPC及び充電保管庫を整備します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>味岡小</th> <th>大城小</th> <th>味岡中</th> <th>光ヶ丘中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タブレットPC</td> <td>280台</td> <td>137台</td> <td>290台</td> <td>85台</td> </tr> <tr> <td>収納保管庫</td> <td>8台</td> <td>6台</td> <td>8台</td> <td>3台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※キーボード及びタッチペンについては、各校40～80台整備</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル校において、タブレットPC等を活用した授業実践等を研究するため、先進校視察及び各種研修を実施します。(ICT教育推進研究委託のR1予算額:2,000千円) モデル校間の情報共有を図るため、定期的に情報交換会を開催します。 		味岡小	大城小	味岡中	光ヶ丘中	タブレットPC	280台	137台	290台	85台	収納保管庫	8台	6台	8台	3台
	味岡小	大城小	味岡中	光ヶ丘中												
タブレットPC	280台	137台	290台	85台												
収納保管庫	8台	6台	8台	3台												

3. 学習時におけるICT機器の利用環境整備

具体的な取組み	～2018	2019	2020	2021	2022～
① 校内有線LANの改修		モデル校の回線状況の計測 校内LANの再構築		各校の校内LANの検討と再構築	
		各校の校内LANの状況確認			
② インターネット回線の改修 ・センターサーバと各校間 ・センターサーバから外部へ		各校間の通信量の計測	専用回線の検討と再構築		
			インターネット回線の検討と再構築		
③ タブレットPCの整備		【中学校】 普通教室 一部特別教室 生徒用	モデル校での検証内容をもとに導入を検討		導入
④ 大型提示装置の整備		【中学校】 普通教室 一部特別教室	すべての特別教室への整備を検討		
⑤ 実物投影機の整備		【小学校】 特別教室への整備	【中学校】 特別教室への整備を検討		

当初 (H31・2)	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した「分かる授業」の実現に向けて、よりよい学習環境の構築ができるよう整備を進めます。 1人1台タブレットPCを利用した学習環境の構築に向けて、各学校のLANや学校とセンターサーバ間の回線について再整備を進めます。
R1 取組み	①・②令和元年度にネットワーク監視用サーバを設置し、モデル校において、任意のハブの通信量を測定・監視し、校内LANの再構築の参考データとします。

R1 取 組 み	<p>③ タブレットPCの整備</p> <p>中学校の機器更新として、令和元年8月に、タブレットPC及び収納保管庫を整備します。</p> <p>○普通教室等：各校においてタブレットPC各10台（篠岡中のみ9台）、収納保管庫各1台を整備します。</p> <p>○コンピュータ教室（各校40台）：既存のノートPCをタブレットPC（キーボード付き）に更新します。</p> <p>④ 大型提示装置の整備</p> <p>中学校の機器更新において、大型提示装置（電子黒板機能付きプロジェクター及びスクリーン）を全普通教室及び特別教室（各校10室程度）に各1台整備します。</p> <p>⑤ 実物投影機の整備</p> <p>今年度予定していた小学校特別教室への設置は、予算が付かなかったため、来年度設置に向けて予算要求します。</p> <p>中学校分については、コンピュータ整備検討委員会で特別教室への設置について、議論・検討します。</p>
-------------------	--

4. 学習効果を高めるソフトウェアやサポート体制の整備

具体的な取組み	～2018	2019	2020	2021	2022～
① 教育ソフトウェア・コンテンツの充実					
デジタル教科書 (指導者用) 小学校		導入済みデジタル教科書の活用	新しい教科書に対応したデジタル教科書の整備と活用		
中学校		導入済みデジタル教科書の活用		新しい教科書に対応したデジタル教科書の整備と活用	
デジタル教科書 (学習者用)			学習者用デジタル教科書の導入についての検討		
授業支援ツール		導入済みツール(SKYMENU Class)の活用		他の授業支援ツールの機能比較と検討	
デジタル教材 ドリル教材 情報モラル教材		導入済み教材の活用		他の教材の機能比較と検討	
② 教員研修の充実					
導入機器やソフトウェアの活用研修			導入業者による機器やソフトウェアの活用研修 (夏季教員研修での開催)		
ICT機器活用事例研修			先進校の視察や活用事例集を活用したICT機器活用の事例研修		
			各校でのICT機器の活用事例の蓄積		
③ 情報教育支援活動					
機器サポート体制の充実			ICT機器を最適な状態に維持できる機器サポートの実施		
			機器サポート体制の見直し		
ICT支援員によるサポート体制		支援員の導入	ICT支援員による活用サポートの実施		
			活用サポートの見直し		
④ 授業外での学習活用					
			授業外でのICT機器の活用事例の蓄積と活用方法の検討 図書室での学習、特別支援学級での学習 日本語指導教室での学習		

当初 (H31 ・ 2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもたちの学びを深めるために、ICT機器を有効に活用できる教育ソフトウェアやデジタルコンテンツの活用方法の検証を進めます。 ・ こどもたちの学びが深まるICT機器の活用ができるような授業研究や研修を定期的に行います。 ・ 不具合に即時対応ができるような機器サポート体制の構築のため検討を進めます。 ・ 授業だけでなく学校生活の様々な場面でICT機器の活用によってこどもたちの学びが深まるように事例の蓄積と活用方法の検証を進めます。
R1 取 組 み	<p>① 各ソフトウェアの有効な機能や使い勝手を把握するため、教員アンケートを実施します。(年1～2回程度)</p> <p>② モデル校及び中学校において、新たに導入する機器の操作研修を実施します。</p> <p>夏季教職員研修として、「ICT機器を活用した授業づくり(授業支援ツール)」、「プログラミング教育」の2講座を実施します。</p> <p>令和元年8月から導入するICT支援員により、各校のICT教育の推進状況にあわせた校内研修を実施します。</p> <p>また、モデル校において、タブレットPCの活用実践について先進校視察を実施し、必要に応じて学校間で情報共有を図ります。</p> <p>③ ICT支援員の受託業者を公募型プロポーザルで選定することとし、平成31年4月に募集を開始しました。(応募事業者：5者)令和元年5月末に業者を決定し、8月からICT支援員がモデル校及び各小学校を巡回訪問します。</p>

5. 学校からの積極的な情報発信と校務支援システムの整備

具体的な取組み	～2018	2019	2020	2021	2022～
① 学校からの積極的な情報発信					
学校ホームページ	学校ホームページの充実				
	学校の様子を即時に発信できるHPシステムの検討				
保護者メール	積極的な学校情報の発信				
	効果的な情報発信のあり方の検討				
② 校務支援システムの整備	校務支援システムの機能改善の検討				
③ 校内情報ネットワークの整備	校内情報ネットワークの機能改善の検討				
④ 図書管理ツールの整備	図書管理ツールの機能改善の検討				
⑤ 学校徴収金システムの整備	学校徴収金システムの機能改善の検討				

当初 (H31・2)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域との連携を図るため、積極的に学校での出来事をホームページや保護者メールで発信します。 円滑な教育活動が進められるように、校務支援システムや校内情報ネットワーク、図書管理ツールなど、教育活動を支える様々なシステムの機能改善を検討します。 学校徴収金事務が円滑に進むように、学校徴収金システムの機能改善を検討します。
R1 取組み	<p>次の項目をはじめ、効率的な校務遂行に向けて、適宜、機能改善を検討します。</p> <p>① 学校からの積極的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページアクセス数 H30 : 2,727,704件、R1(～5.17) : 356,210件 保護者メール送信数 H30 : 1,662件、R1(～5.22) : 165件 ユーザー数 25,648人 <ul style="list-style-type: none"> 小牧市のICT教育関係の情報を掲載している「小牧市小中学校ICTインフォメーションセンター」に、モデル校情報を掲載するページ及び教職員アンケートのページを追加するなどのリニューアルについて検討します。

R1 取 組 み	<p>② 校務支援システム</p> <ul style="list-style-type: none">・令和元年度に策定予定の「小牧市教員の多忙化解消プラン」に基づき、教員の出退勤管理の仕組みづくりについて検討します。・令和2年度に、学校給食の個人別食数一覧の出力機能を追加します。
-------------------	---